



⑨ 野外炊事

概要	仲間と協力しながら、カレー、焼きそばを森の中の野外炊事場で作ります。			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> グループで役割分担をしながら取り組むことで、協調性や計画性を養う。 食材を無駄にすることのないように活動を行うことで、食べ物への感謝を意識させる。 			
条件	対象	小学生～	人数	8～280名
	時期	5月～10月 (夜の実施は夏休み期間中のみ)	実施の判断	荒天時は場所を変更する 場合がある
貸出物品 ・準備物	自然の家（貸出物品）		団体（準備物）	
	<input type="checkbox"/> 食器セット (皿10、スプーン10、まな板2、しゃもじ・お玉・フライ返し各1) <input type="checkbox"/> フォーク、包丁、箸、鍋、釜、ボウル、ザル、なた、火ばさみ、十能他		<input type="checkbox"/> 食器用中性洗剤 <input type="checkbox"/> クレンザー <input type="checkbox"/> スポンジ <input type="checkbox"/> 布巾 <input type="checkbox"/> 台拭き <input type="checkbox"/> 金たわし <input type="checkbox"/> マッチ、ライター <input type="checkbox"/> 野外炊事用薪（売店で購入） <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ゴミ袋（売店で購入可）	
個人（準備物）			<input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 長袖・長ズボン <input type="checkbox"/> 帽子	
引率者の役割	<ul style="list-style-type: none"> 健康観察…参加者の健康状態を把握する。 安全対策…火、刃物を取り扱う場面に適切な人数で指導に当たる。 事故発生時の対処…けがや事故が発生した場合は、直ちに事務室へ連絡する。 			
自然の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> 物品の貸出を行う。 活動場所で、活動の説明や安全に関する指導を行う。 貸出物品の片付け前に点検を行う。 			
活動の流れ (3～4時間)	<p>【準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 団体内で「計画」→「準備」→「調理」→「食事」→「片付け」までの流れを共有し、活動を始めます。 売店に声をかけ、乾燥室手前右奥から食材を受け取ります。 使用するテーブルナンバーを確認します。 団体指導者立ち合いのもと、野外炊飯用具庫から鍋、釜、食器セット、調理器具、ボウル、ザルを取り出す。包丁は指定された番号のものを使用します。 薪小屋から薪を取り出します。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食器や調理器具の数を確認してから食器を洗います。 調理を開始します。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用した食器や調理器具を洗い、かまどの火を落としてから残炭を片付けます。 内線で事務室へ連絡し、職員立ち合いの食器点検後に食器や調理器具を返却します。 			
安全管理 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 使用後のかまどには、直接水を掛けないでください。温度差で破損する場合があります。 事故防止のため、包丁やなたを使う際には十分注意してください。 残飯や活動中に出了たゴミは分別してゴミ置き場へ持って行ってください。 ゴミ袋は西郷村指定のものを使用してください。売店でのご購入も可能です。 残った薪については薪小屋へ返却し、残炭は完全燃焼をしてください。 夜の実施は15時までに開始し、19時30分までに点検・片付け完了となります。当日完了できない場合、次の日の8時30分に立ち合いで片付けを行っていただきます。 			